

Autodesk[®]
Authorized Training Center
Training workbook

learning
AutoCAD 2012
in Classroom
基礎コース

第三者へのトレーニングやセミナー等実施のため、このドキュメントや関連データを無断で複写、配布、転載は禁止されています。

目次

01 基本機能.....	1
ユーザインターフェース.....	2
AutoCAD の起動.....	2
ユーザインターフェース.....	3
アプリケーションメニュー.....	4
クイックアクセスツールバー.....	6
リボン.....	9
コマンドウィンドウ.....	11
ステータスバー.....	11
パレット.....	12
モデル空間とレイアウト空間.....	13
クイックビュー.....	14
ファイル操作.....	16
新規図面を開く.....	16
既存の図面を開く.....	17
図面に名前を付けて保存する.....	18
図面を上書き保存する.....	19
図面を閉じる.....	20
画面コントロール.....	21
マウスの操作.....	21
マウスホイールの操作.....	22
カーソルの種類.....	23
画面表示のコントロール.....	24
基本操作.....	27
ダイナミック入力.....	27
コマンドの実行方法.....	28
元に戻す、やり直し、キャンセル.....	30
座標入力.....	31
作図補助機能.....	34
スナップ、グリッド.....	34
オブジェクトスナップ.....	35
極トラッキング.....	38
オブジェクトスナップトラッキング.....	39
02 オブジェクトの作成.....	41
主な作成コマンド.....	42
線分[LINE]コマンド.....	42
円[CIRCLE]コマンド.....	44
円弧[ARC]コマンド.....	46
楕円[ELLIPSE]コマンド.....	48
ポリライン[PLINE]コマンド.....	50
長方形[RECTANG]コマンド.....	53
ポリゴン[POLYGON]コマンド.....	56
03 オブジェクトの選択.....	59
オブジェクトの選択方法.....	60
オブジェクト選択の基本.....	60
オブジェクトの選択表示.....	63
類似したオブジェクトを選択.....	64

クイック選択[QSELECT]	64
04 オブジェクトの編集	67
グリップ編集	68
グリップモードによる編集	68
多機能グリップによる編集	68
主な修正コマンド	70
削除[ERASE]コマンド	70
移動[MOVE]コマンド	71
複写[COPY]コマンド	73
オフセット[OFFSET]コマンド	76
回転[ROTATE]コマンド	79
鏡像[MIRROR]コマンド	81
トリム[TRIM]コマンド	83
延長[EXTEND]コマンド	86
フィレット[FILLET]コマンド	89
面取り[CHAMFER]コマンド	92
尺度変更[SCALE]コマンド	96
ストレッチ[STRETCH]コマンド	98
配列複写[ARRAY]コマンド	99
◆ [矩形形状配列複写]	99
◆ 円形状配列複写	102
◆ パス配列複写	104
◆ 自動調整配列複写の編集	107
ポリラインの編集	111
05 画層とプロパティ	113
画層	114
画層プロパティ管理	114
画層のコントロール	119
オブジェクトのプロパティ	124
プロパティコントロール	124
06 文字	127
文字入力	128
文字記入[TEXT]コマンド	128
文字の編集	129
マルチテキスト[MTEXT]コマンド	130
マルチテキストの編集	132
文字スタイル管理	133
文字スタイルの作成	133
文字スタイルの切り替え	134
07 寸法	135
寸法	136
寸法記入	136
寸法編集	140
寸法スタイル管理	143
寸法スタイルの作成	143
寸法スタイルの切り替え	151
マルチ引出線	152
マルチ引出線の記入	152
マルチ引出線の編集	153

マルチ引出線スタイル	155
マルチ引出線スタイルの作成	155
マルチ引出線の切り替え	158
08 ハッチング	159
ハッチングの作成	160
ハッチング[HATCH]コマンド	160
ハッチングの編集	167
ハッチング編集	167
09 レイアウト	169
レイアウトの使用	170
レイアウトの基本	170
ページ設定	171
ビューポートの作成	173
ビューポートのコントロール	175
ビューポート内のコントロール	176
10 異尺度対応注釈	179
異尺度対応注釈	180
異尺度対応注釈とは	180
異尺度対応オブジェクトの作成	181
注釈尺度のコントロール	184
レイアウト空間と注釈尺度	186
レイアウト空間での注釈尺度	186
11 テンプレート	189
図面テンプレート	190
テンプレートとは	190
図面テンプレートの作成	190
12 印刷	199
印刷	200
プリンタの登録	200
ページ設定	202
印刷スタイルとは	205
印刷スタイルテーブルの作成	206
印刷方法	210
ファイルへの出力	211
バッチ印刷	213
13 ブロック	215
ブロック定義	216
ブロック定義とは	216
ブロックのプロパティ	216
ブロック定義[BLOCK]	218
ブロック書き出し[WBLOCK]	220
ブロック挿入[INSERT]	221
ブロック定義の修正	223
属性	225
属性定義	225
属性定義の編集	229

01 基本機能

ユーザインターフェース

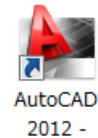
AutoCAD の起動

AutoCAD は、次の 2 つの方法から起動します。

■ 方法 1

デスクトップアイコンをダブルクリックして起動

Windows のデスクトップに配置された[AutoCAD2012]アイコンをダブルクリックします。



■ 方法 2

Windows のスタートメニューからプログラムを選択して起動

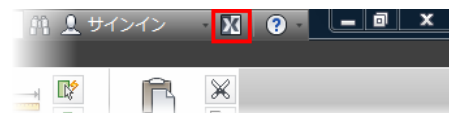
[スタート]-[すべてのプログラム]-[Autodesk]-[AutoCAD2012 - Japanese]-[AutoCAD2012 - Japanese]を選択して起動します。

● Autodesk Exchange

AutoCAD を起動すると[Autodesk Exchange]が表示されます。機能紹介のビデオや製品更新のアナウンスなどが掲載されており、製品サポートや Subscription センター、オンラインヘルプなどにアクセスすることができます。

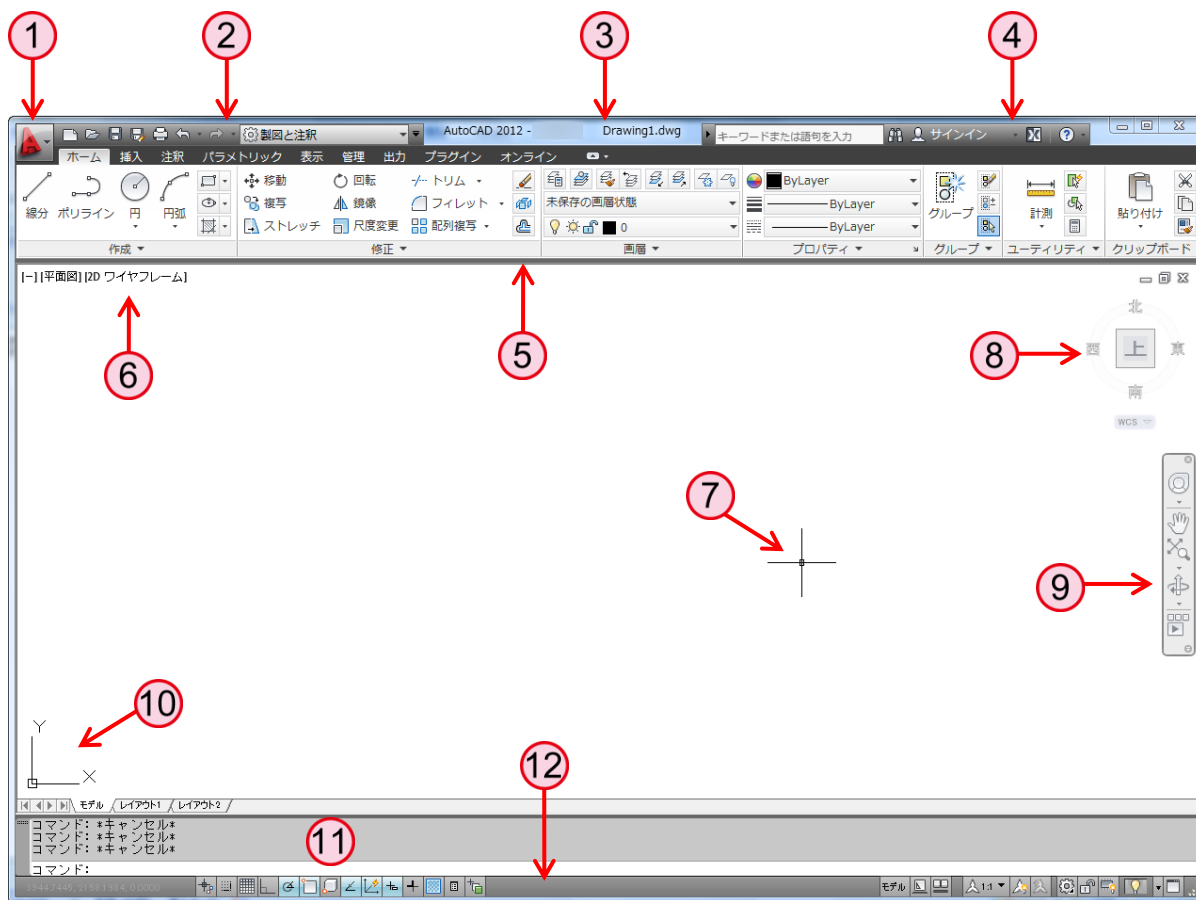


AutoCAD ウィンドウの右上にある[情報センター]から、いつでも Autodesk Exchange にアクセスできます。



ユーザインターフェース

AutoCAD を起動すると、次のようなウィンドウが表示されます。主な画面構成と名称、役割は次の通りです。

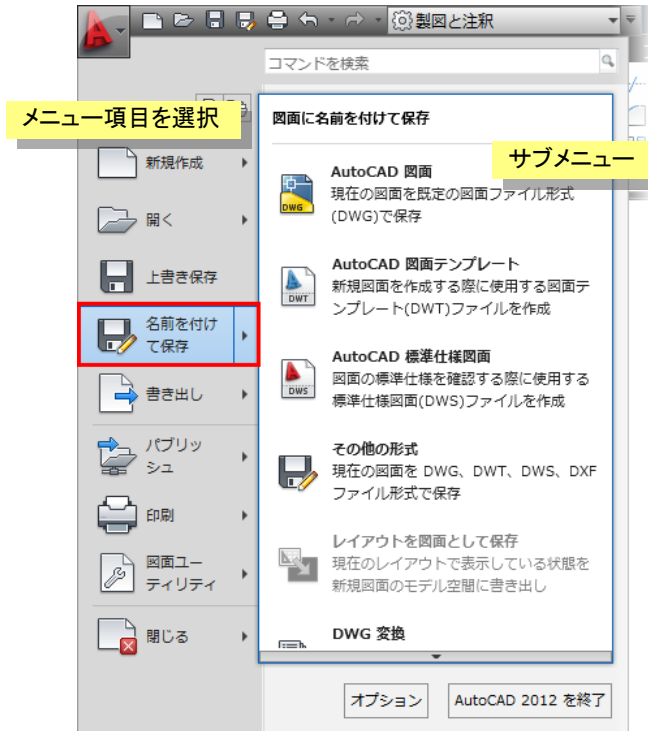


① アプリケーションメニュー	ファイル操作や印刷など、多くの標準的な機能にメニュー形式でアクセスします。
② クイックアクセスツールバー	頻繁に使用する標準的な機能にアイコンからアクセスします。
③ タイトルバー	開いている図面のファイル名などが表示されます。
④ 情報センター	キーワードを入力した情報の検索、Autodesk Exchange へのアクセスが行えます。
⑤ リボン	タブとパネルで構成され、関連付けされたツールが納められた小型のパレットです。
⑥ ビューポートコントロール	ビュー、ビューポート、表示スタイルの設定を作図領域でコントロールします。
⑦ クロスヘアカーソル	作図領域では、カーソルの外観は動作によって変化します。
⑧ View Cube ツール	現在の視線方向を示します。ツールをクリックすると視点方向が切り替わります。
⑨ ナビゲーションバー	頻繁に使用する画面操作のツールが配置されています。
⑩ UCS アイコン	現在の座標系を示します。
⑪ コマンドウィンドウ	操作の履歴や次の操作へのメッセージが表示されます。
⑫ ステータスバー	作図補助機能、表示コントロール、図面ステータスの機能が配置されています。

アプリケーションメニュー

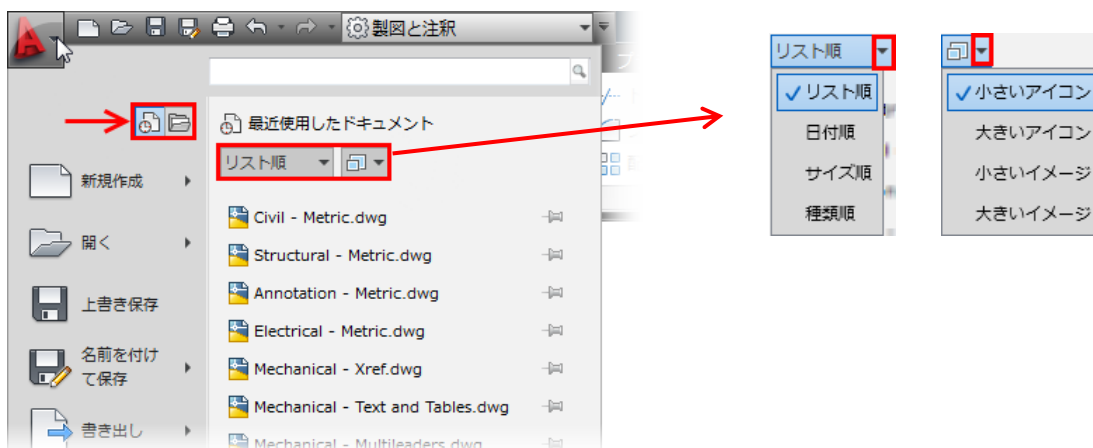
ファイル操作や印刷などの一般的なツールにアクセスします。メニュー項目のコマンドを選択すると、サブメニューが表示され、的確な選択が可能になります。

そのほか、コマンドの検索やオプションなどの多くの機能をアプリケーションメニューより実行できます。



● [最近使用したドキュメント]・[開いているドキュメント]

[最近使用したドキュメント]ボタンを選択すると、右側の領域に最近開いた図面の一覧が表示されます。リストを選択して、手早くファイルを開くことができます。リストの順序や表示方法は、変更することができます。また、ピンのマークをクリックしてドキュメントを固定し、リストに残していくことも可能です。



[開いているドキュメント]ボタンを選択して、現在開いている図面の一覧を表示することができます。順序を変更する機能とピンで固定の機能はありませんが、リストを選択することで図面の切り替えが行えます。

02 オブジェクトの作成

主な作成コマンド

線分[LINE]コマンド

線分[LINE]コマンドを使用して、始点と終点を持つ直線を作成します。
次の点を続けて指定し、連続した線分を作成できます。(各線分は別々のオブジェクトとなります。)

コマンドの選択

リボン:[ホーム]タブ-[作成]パネル-[線分]

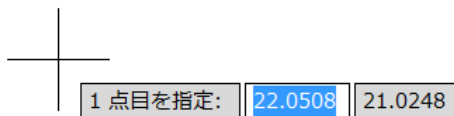


● 基本操作

コマンドを実行

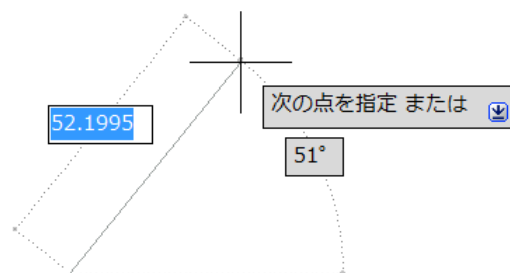
1. 1点目を指定:

任意の始点の位置でクリック



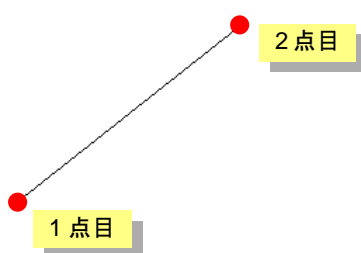
2. 次の点を指定または[元に戻す]:

終点(2点目)となる任意の位置でクリック



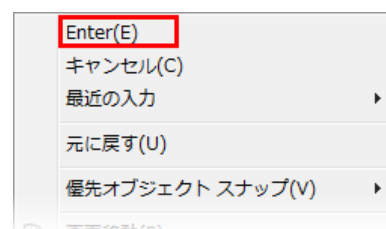
3. 次の点を指定または[元に戻す]:

Enter でコマンド終了



NOTE

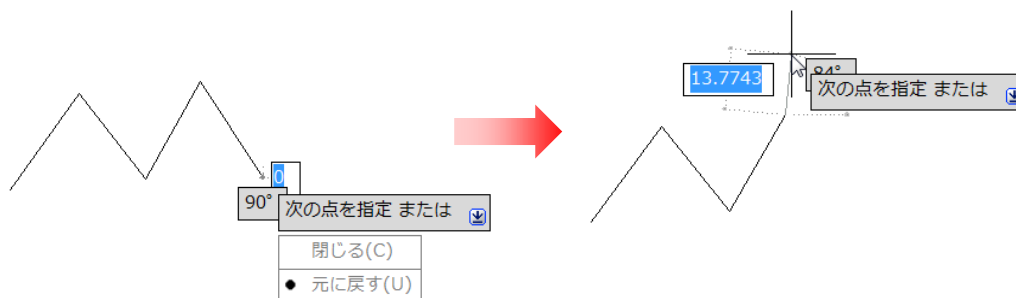
右クリックで表示されるショートカットメニューから Enter を選択することもできます。



● コマンドオプション

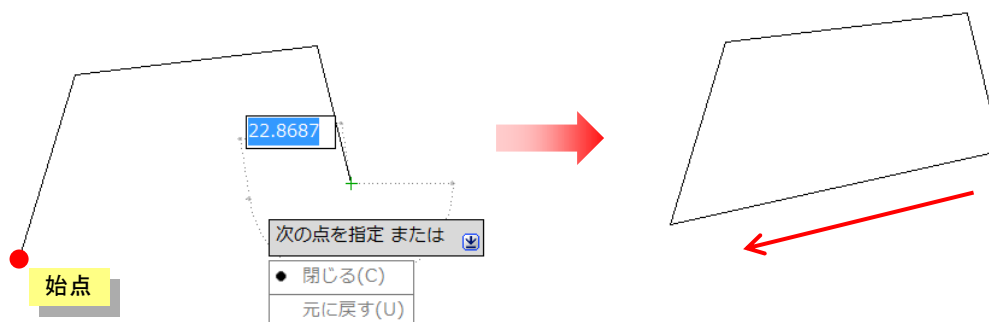
■ [元に戻す(U)]

コマンドを終了せずに、直前に作成した線分を取り消します。



■ [閉じる(C)]

始点に戻ってコマンドを終了します。

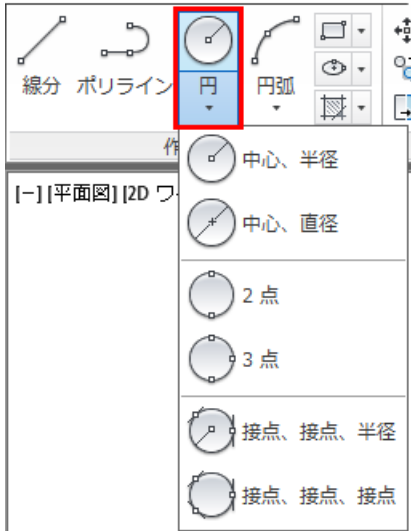


円[CIRCLE]コマンド

円[CIRCLE]コマンドを使用して、円を作成します。作図条件に合わせて幾つかの方法が用意されています。

コマンドの選択

リボン:[ホーム]タブ-[作成]パネル-[円]



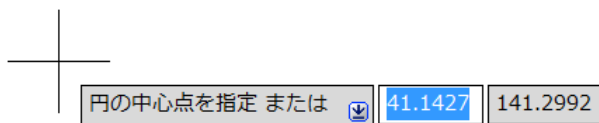
● 基本操作

■ [中心・半径]

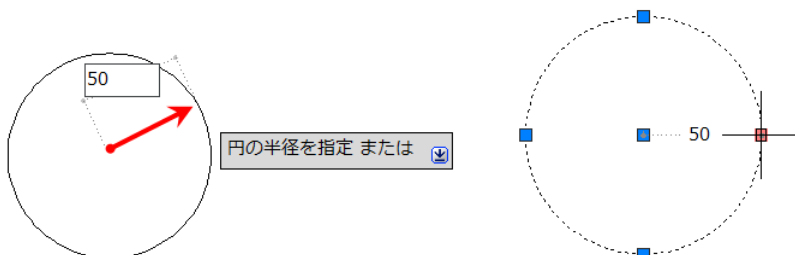
中心と半径を指示して円を作成します。

コマンドを実行

1. 円の中心点を指定 または [3 点(3P)/2 点(2P)/接、接、半(T)]:
任意の中心点の位置でクリック



2. 円の半径を指定または[直径(D)]:
50 Enter (または画面上で点を指示)



発行日 2011年7月1日

AutoCAD 2012 基礎コース

第三者へのトレーニングやセミナー等実施のため、このドキュメントや関連データを無断で複写、配布、転載は禁止されています。
Copyright 2011, Maruhan Co.Ltd. All right reserved